



こんにちは！ 日本共産党の 小山ゆりえです

県は地元住民の声に耳を貸せ！ 小児医療センターの住民説明会に百名超が参加

蓮田市と岩槻区の主に自治会長を対象に、埼玉病院局による「小児医療センター」移転に伴う現在地の機能について「の説明会が8月6日(水)の午後5時より開かれました。会場となった県立岩槻特別支援学校の会議室は、百名を越す参加者でいっぱいとなりました。

171名に限定した外来診療

県は小児医療センターの現在地に残す機能を今年秋までに確定させるため、6月県議会に概要を示しました。

ここでは現病院の耐震上問題のない部分の一部を改修して、対象患者171名に限定して週数日の外来診療のみを行う。また、現在の保健発達棟を活用し、デイケアや一時預かりなどの障がい児の在宅医療を支援する機能を整備する考えを示しましたが、売却・貸付を含めて検討する方針であると説明しました。



参加者で満員の説明会

「説明会はアリバイ作りだ！」

説明会では、岩槻地区自治会連合会長が「現在地に残してほしい」という請願署名を岩槻で41,904筆・・・集め、県議会に提出して以来3年になろうとしているが、この間何度かの説明会でお話ししてもらっているけど、県は耳を貸さず、粛々と進めてしまっている。「説明会はアリバイ作りだ！」と怒りをぶつけていました。

「夜間や緊急時の対応は検討したのか」また他の発言者より「(新病院で)NICUが県全体では増えると言っているが、この東部北地域では逆に減るではないか。」(171名の患者も含めて)夜間や緊急の時の対応について真剣に検討したのか。「など多くの質問や意見が出されました。

当初午後5時から1時間という設定でしたが、11名が発言して6時40分過ぎまで行われ、10月または11月に改めて開催することを確認して終了となりました。

「憲法Cafe@蓮田」にたぐやんのメンバーたち。つながりまじゅー！



日本共産党蓮田市委員会子ども・環境対策責任者 船橋ゆき子

7月29日、蓮田の”森のレストランすっぴん”にて「食事しながら憲法や集団的自衛権のことを学びましょう」という若い女性弁護士の呼びかけに、蓮田、白岡、大宮、浦和などから女性12人、子ども4人、赤ちゃん2人の合計18人が集まり、賑やかに憲法や戦争でできる国への危機感を交流しました。

「私の話を聞いて」集団的自衛権賛成

となつてもいい。まず知って。「の前置きの後、憲法〇×クイズを解きました。改めて訊かれるとドキドキします。解説を聞き、おしゃべりで理解を深めました。

「久喜でいい店があるからそこでママCafeをやりたい！」と新たなつながりもできました。「戦争は嫌」と今、ママたちが憲法を知り、行動しています。※憲法カフェの詳細・予約は埼玉中央法律事務所 (645-2026)まで。

憲法Cafe 予定
9/2・10：大宮
9/5：蓮田
9/10：久喜

三陸地方の津波被害の現状

現地視察で復興の遅れ改めて実感

自治体学校に参加し、「宮城・三陸沿岸復興・復興の『今』を考える」分科会に出ました。

蓮田市と縁の深い南三陸町

南三陸町は、テレビでも放映されましたが、地震の後に、中山・番場地区にいち早く蓮田市の建設関係の方が支援に駆けつけ、道路を造るなどの援助をしており、地区の青年たちが蓮田市に来て、地震が起こった時の状況を語った会も開かれました。その縁で、さくらまつりなど行事があるときには、必ずわかめなどの特産品を持って参加しています。

縁の深い地域の復興は今、どうなっているのか、実際に現地を見ることによつて、支援や防災のあり方を考えていきたいと思ひ、参加しました。

悲惨な状況に胸が詰まる

草が一面に生えていて「ここには家が立ち並んでいたですよ」との説明がなければのどかな風景そのものです。津波発生時の状況を実際に体験した人から話を聞き、今までテレビや新聞での報道で知った以上に悲惨な状況に胸が詰まる思いでした。

子どもが多数犠牲の大川小学校

とりわけ、子どもたちの命が多数奪われた大川小学校の現場はその凄惨な状況とともに、「裏山がすぐそこにあるのに、なぜここに逃げなかつたのか」と、家族の気持ちを考えるといたたまれぬ思いでした。

復興はまだまだ遠い

巨大堤防、高台移転などの準備はされていいますが、いまだに仮設住宅暮らし、仮設店舗の商店街など3年たった今でも住民の暮らしは戻っていません。

がれきは片づけられていましたが、復興はまだまだ遠いと、政府は何をやっているのか、政治への怒りがまた、湧いてきました。

(小山 ゆりえ)

集団的自衛権行使許さない！ 平和行進 意気高く



駅東口前を行進する隊列

世界で唯一の被爆国として「核兵器をなくせ」と訴え続けようと毎年行われてきた『平和行進』も今年で57回目。今回は集団的自衛権容認の閣議決定という暴挙への怒りがわき起こる中、平和を守る意気込みがとりわけ強く感じられた行進でした。

83名が参加し、中央小前から駅東口まで沿道に呼びかけながら行進しました。

黒浜後援会の 定例総会が開催

日本共産党黒浜後援会の定例総会が、7月19日(土)に開催されました。

総会では会長に永田さんが引き続き選ばれ、新しい役員体制も確立されました。

総会後は放射線内部被ばくのDVD観賞や、小山市議から6月議会などの市政報告が行われました。

秋の『赤旗まつり』への参加や、来年4月の市議選での議席確保にむけて頑張ろうと確認し、閉会となりました。



報告する永田会長(左)と小山市議

